平「そんな抽象的では困る會社の方はそれで認めたと云ってすむが
　私の方は生死の問題です」
松「私にも解雇すると云ふ事は大事な事だから輕々にはやらない。
　毎日仕事をして居るその仕事の爲し振りを判斷するのだ」
平「誰れの判斷ですか」
松「部長の判斷だ」
平「三人の家内の生死の問題を只部長の判斷で會社に認めた丈けで
　不景氣の眞中へほり出すのは誠意がない」
松「〆君達に責任があると同時に大數の人々にも責任があるからネ」
平「責任があるのに何故只認めた丈けで首にしますか」
松「認めた調査が惡かつたのだ」
平「其の認めたと云ふ部長の報告調査が信用出來ぬのです部長サン
　貴方は丶丶」
松「部長さんとの話はやめて吳れ部長サンは今日は傍聽人だから」

財團法人勞働會大阪支部